

## 第21回天然薬物の開発と応用シンポジウム

### 開催趣意書

1. 会議の名称： 第21回天然薬物の開発と応用シンポジウム
2. 主催団体： 日本薬学会 生薬天然物部会
3. 会期： 2016年10月27日（木）、28日（金）
4. 開催場所： 千葉大学薬学部120周年記念講堂
5. 実行委員長： 石橋正己（千葉大学大学院薬学研究院・教授）  
同副委員長： 荒井 緑（千葉大学大学院薬学研究院・准教授）

6. 会議の趣旨：

本シンポジウムは、日本生薬学会の先生方が中心になって立ち上げられ、和漢生薬を始め、薬用植物・微生物・海洋生物から見出された医薬シーズとしての生物活性物質からの創薬をめざして、隔年ごとに開催されてまいりました伝統あるシンポジウムで、今年で第21回目の開催となります。平成18年4月に日本薬学会に生薬天然物部会が新設されたのに伴いまして、部会主催シンポジウム「天然薬物の開発と応用シンポジウム」として位置づけられ、同じく部会主催シンポジウムとなりました「食品薬学シンポジウム」と交互に開催されております。

本シンポジウムは、特別講演、シンポジウム、一般発表を中心とするシンポジウムで、日本薬学会年会や日本生薬学会年会と異なり、要旨も充実し、講演時間も十分に取られ、先生方のご研究をまとめてご発表いただける内容であり、分科会の形式を取らず天然薬物に関する研究の第一線で活躍されておられる先生方が一同に介して討議していただける特色あるシンポジウムであります。

豊かな社会そして高齢化社会を迎えた昨今、健康に関する国民の関心は日々増大しております。また、天然薬用資源からの創薬研究は歴史が古く、現在用いられている医薬品の多くが、天然物およびその誘導体であります。2015年のノーベル医学生理学賞を北里大学の北里大智博士、中国の屠呦呦氏が受賞したように、天然薬物からの創薬研究の取り組みは益々重要性を増し、注目されています。このような背景から、天然薬物に関する研究・開発において第一線で活躍している研究者が一堂に会し、その研究成果の発表および現状と将来について討議を重ねる本シンポジウムの開催は、非常に意義深いものと考えます。

つきましては、上記趣旨をご理解いただき、本シンポジウム運営費の補助を目的として、講演要旨集への広告掲載あるいはご協賛を賜りたく、お願いいたします次第であります。

## 特別講演

- ・上田 実（東北大学）
- ・大島吉輝（東北大学）

## シンポジウム1「天然物ケミカルバイオロジー」

- ・西村慎一（京都大学）
- ・荒井 緑（千葉大学）
- ・横島 聡（名古屋大学）
- ・荒井雅吉（大阪大学）

## シンポジウム2「カテイングエッジ生薬学」

- ・大槻 崇（日本大学）
- ・小暮紀行（千葉大学）
- ・淡川孝義（東京大学）
- ・東田千尋（富山大学）

## 7. 所要経費（案）の概要：

開催費は、特別講演、シンポジウム講演演者の先生方の招聘に関わる費用、懇親会、プログラム、ポスター、ホームページ作製費用、講演要旨集費用を合わせて、約100万円となります。これは薬学会からの補助、参加費、懇親会費、及び、協賛金で賄う予定です。

つきましては、別紙のとおりこのシンポジウムの協賛金あるいは講演要旨集への広告掲載を募っております。趣旨をご理解いただき、実りある会議にするために、ご協力・ご援助いただければ幸甚に存じます。極力運営費を節減し、出費を抑制することに努めてまいりますので、何卒よろしくご協力賜りますようお願い申し上げます。

幸いにもご協力いただけますならば同封の申込書にご記入の上、ご送付くださいますようお願い申し上げます。

## 8. 問合せ先：

〒260-8675 千葉市中央区亥鼻1-8-1  
千葉大学大学院薬学研究院 活性構造化学研究室  
第21回天然薬物の開発と応用シンポジウム実行委員会  
委員長 石橋正己  
電話：043-226-2923 FAX：043-226-2923  
E-mail：tennen@ML.chiba-u.jp

## 寄付金募集要項

1. 募金の名称 第21回天然薬物の開発と応用シンポジウム寄付金
2. 募集金額 一口5万円
3. 募集期間 平成28年9月16日（金）まで
4. 寄付の用途 第21回天然薬物の開発と応用シンポジウムの準備及び開催経費
5. 募金責任者 第21回天然薬物の開発と応用シンポジウム

実行委員長 石橋正己

6. 申込方法 申込書にご記入いただき、ファックスでお申込ください。
7. 送金方法 平成28年10月7日（金）までに下記口座へお振込みをお願いいたします。

### 【振込先】

ゆうちょ銀行	記号： 10590	番号： 88975761
※他金融機関から振り込みの場合		
店名： ○五八（読み ゼロゴハチ）	店番： 058	
預金種目： 普通預金	口座番号： 8897576	
口座名： 第21回天然薬物の開発と応用シンポジウム実行委員会		

8. 申込ならびにお問合せ

〒260-8675 千葉市中央区亥鼻1-8-1  
千葉大学大学院薬学研究院 活性構造化学研究室  
第21回天然薬物の開発と応用シンポジウム実行委員会  
委員長 石橋正己  
電話：043-226-2923 FAX：043-226-2923  
E-mail：tennen@ML.chiba-u.jp  
<http://www.p.chiba-u.jp/lab/kassei/21tennen/home.htm>

## 【FAX 送信用紙】

送付先：第21回天然薬物の開発と応用シンポジウム事務局  
FAX: 043-226-2923

---

### 第21回天然薬物の開発と応用シンポジウム 寄付申込書

平成28年 月 日

(あて先) 第21回天然薬物の開発と応用シンポジウム  
実行委員長  
石橋 正己 殿

貴社名：

所在地：

担当部課名：

担当者名：

電話番号：

FAX 番号：

第21回天然薬物の開発と応用シンポジウムに次のとおり寄付金の申込をいたします。

寄付金額 \_\_\_\_\_ 円也

◎上記金額の振込みは \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日を予定いたしております。

ご連絡事項, 備考欄

## 広告募集要項

1. 広告媒体名 第21回天然薬物の開発と応用シンポジウム講演要旨集
2. 広告規格・募集数 白黒版・ 1頁 … 5万円  
白黒版・ 1/2頁 … 3万円
- \*ポスターセッション会場に展示スペースを若干数用意する予定です。  
ご希望の場合は、実行委員会までお問い合わせ下さい。
3. 募集締切日 平成28年9月12日(月)まで
4. 申込方法 別紙の申込書にご記入いただき、ファックスにてお申込下さい。  
また、広告用の完全版下を平成28年9月14日(水)までに下記送付先まで  
ご送付下さい。

【版下送付先】 〒260-8675 千葉市中央区亥鼻1-8-1  
千葉大学大学院薬学研究院 活性構造化学研究室  
第21回天然薬物の開発と応用シンポジウム実行委員会  
TEL: 043-226-2923 (委員長 石橋正己)

5. 送金方法 平成28年10月7日(金)までに下記口座へお振込みをお願いいたします。

【振込先】

ゆうちょ銀行	記号: 10590	番号: 88975761
<b>※他金融機関から振り込みの場合</b>		
店名: ○五八 (読み ゼロゴハチ)	店番: 058	
預金種目: 普通預金	口座番号: 8897576	
口座名: 第21回天然薬物の開発と応用シンポジウム実行委員会		

6. 申込ならびにお問合せ

〒260-8675 千葉市中央区亥鼻1-8-1  
千葉大学大学院薬学研究院 活性構造化学研究室  
第21回天然薬物の開発と応用シンポジウム実行委員会  
委員長 石橋正己  
電話: 043-226-2923 FAX: 043-226-2923  
E-mail: tennen@ML.chiba-u.jp

## 【FAX送信用紙】

送付先：第21回天然薬物の開発と応用シンポジウム事務局  
FAX: 043-226-2923

---

### 第21回天然薬物の開発と応用シンポジウム 広告掲載申込書

平成28年 月 日

(あて先) 第21回天然薬物の開発と応用シンポジウム  
実行委員長  
石橋 正己 殿

貴社名： \_\_\_\_\_

所在地： \_\_\_\_\_

担当部課名： \_\_\_\_\_

担当者名： \_\_\_\_\_

電話番号： \_\_\_\_\_

FAX番号： \_\_\_\_\_

第21回天然薬物の開発と応用シンポジウム講演要旨集への広告掲載申込をいたします。  
(いずれかに○印をお付け下さい)

後付 1頁 ￥50,000

後付 1/2頁 ￥30,000

内訳：広告掲載料として

◎上記金額の振込みは \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日を予定いたしております。

◎版下の送付は \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日を予定いたしております。